

JLMA®

The Japan Lock Manufacturer's Association

24

2013.7

会報^{2013.7} VOL. 24

特集 1 第 14 回 定時総会報告

特集 2 錠の実用性能表示認定品目





【平川溪の桜】桜の野生種は9種類、栽培品種は300種類以上で、現在では日本全体の約8割がソメイヨシノと書われている。

CONTENTS

特集.1

第14回 定時総会報告 2

■議案内容

- 第1号議案 第14期 事業報告書承認の件
- 第2号議案 第14期 収支決算書承認の件
- 第3号議案 第15期 事業計画(案)承認の件
- 第4号議案 第15期 収支予算(案)承認の件
- 第5号議案 役員選出(案)承認の件

開 会	日本ロック工業会第14回定時総会式次第
会 長 決 意	司会 事務局長
決 議 事 項	
第1号議案	第14期事業報告書承認の件
第2号議案	第14期収支決算書承認の件
第3号議案	第15期事業計画(案)承認の件
第4号議案	第15期収支予算(案)承認の件
第5号議案	役員選出(案)承認の件
閉 会	司会 事務局長

日本ロック工業会 第14回定時総会式次第

特集.2

錠の実用性能表示認定品目 4

事業目的	5
会員会社・組織図	6
平成25年度 事業計画	7
平成24年度 総会・理事会・部会活動経過	9
関連資料(業務・研修部会)	18
JLMA 通信	19
会員会社紹介	23
部会編成会社一覧表<平成25年度>	24
会員会社情報	24

第14回定時総会は、5月27日（月）に東京都千代田区霞ヶ関の法曹会館「富士」会議室において、出席会員会社数正会員20社（委任状3社含む）、賛助会員8社の過半数にあたる会員会社の出席のもと開催しました。本会議では第14期事業報告書、第14期取支決算書、第15期事業計画（案）、第15期取支予算（案）、役員選出（案）の第1号議案から第5号議案まで5件の議案が審議され、それぞれ承認可決されました。

「日本ロック工業会 第14回 定時総会」会長挨拶

本日、日本ロック工業会の第14回定時総会のご案内を申し上げましたところ、会員の皆様方にはご多忙の中、お繰り合わせの上ご出席いただきありがとうございます。日頃は、当工業会の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、平成21年の役員改選より役員と共に私、加藤が会長職を仰せつかり、早いもので4年が経過いたしました。副会長職には勲アルファ木之瀬社長、勲ユーシン・ショウワ井門社長をはじめ、理事会社11社の体制により精力的に活動して参りました。

昨年の総会にて皆様方からご賛同頂きました基本方針は次の6項目でありましたが、これらの基本方針は全て計画通りに推移しております事をご報告致たく存じます。後ほど各部会の活動報告の中で詳細ご説明させて頂きたく存じます。

【1項目目】は、各制度に対する周知活動の強化

- ①実用性能認定制度：製品申請及びグレード表示の促進
- ②錠の保守点検制度：仮運用における問題点の整理（管理委員会）
- ③耐用年数のガイドライン：関連団体への周知活動の徹底

【2項目目】は、情報管理形態の検討・研究

【3項目目】は、JIS規格改正に向けた準備（JIS改正内部委員会の発足）

【4項目目】は、各部会活動の効率化および情報の共有化の充実

【5項目目】は、日本ロック工業会の法人化（一般社団法人）の継続検討

【6項目目】は、日本ロック工業会発展のための施策検討

当会の活動の目的は、国民の防犯に寄与することと会員の皆様の事業活性化であります。住宅の新築着工数につきましても89万戸と環境は少しずつ上向きになってきておりますが、取り換えの需要についてはまだまだ満足の内容ではありません。

当会の新年度の方針は、防犯に関する様々な対応を図ることにより「CP錠」の存在価値を大いに高め、継続的な展開を図ることにより、国民の防犯意識を高めて行くことが如何に必要であるか訴えていくことが最大の目標です。この防犯意識が仮に5%上昇することによる経済効果を算出したならばその数値は数10億円と計り知れないものとなるのではないのでしょうか。しかし、我々だけの力で防犯意識を高めることは至難の業であります。行政と共に国民の防犯意識を高めていく活動を展開して行くことであれば、この事も現実となってくると考え、平成17年に犯罪対策閣僚会議により設けられた「安心・安全なまちづくりの日（10月11日）」を当会の定める「防犯の日」として行政・全国防犯協会連合会等の力を借りながら展開したいと思っております。防災の日は9月1日に制定されておりますが、防犯の日を10月11日に制定することで国民の意識と理解が深められ、交換市場も含めた市場の活性化へと繋がることを期待しております。

CP錠の出荷数も非常に苦戦しており、昨年は指定建物錠690万個に対して11万7千個と1.7%の割合であります。この状況を打破するためにも、力を合わせ国民の防犯意識を高めていくことが必ずやCP錠の理解へ繋がるのではないのでしょうか。

次に防犯情勢に關しご説明致します。用法犯の認知件数は、平成14年の285万件余の戦後最多の記録をピークに、昨年（平成24年）は138万件余となり、ピーク時より52%減少しました。窃盗犯においては、平成14年の237万件余から104万件となり、さらに侵入窃盗におきましては33万8千件から11万5千件への65.9%の減少となり、犯罪数が激減しているのが現状であります。



議長の加藤会長



警察力があがれば、商品は売れないという声も聞きますが、犯罪はいつ起きるかわからない物です。特にピッキングの騒ぎの時は違い、我々が国民に防犯の大切さをアドバイスしていく時期に来ているのではないのでしょうか。防犯を制することが事業発展を制すると考えております。今後は、「安心・安全なまちづくりの日（10月11日）」の活動と JL が推進する「ロックの日（6月9日）」の活動、リビングアメニティ協会が推進する「住宅部品点検の日（10月10日）」の活動により防犯をアピールすることが次の展開へとなるのではないのでしょうか。

このような事業環境下での、当工業会の基本方針は昨年度に引き続き、各制度の推進と確立、また国民の防犯意識向上を重点課題として、平成25年度の5つの事業基本方針を挙げさせて頂きたく存じます。

【1項目】は、実用性能認定制度における製品申請の促進とグレードによる競選択の環境整備

【2項目】は、災害時（首都直下型地震等自然災害・火災）に備えた錠の保守点検制度の推進活動錠の耐用年数ガイドラインの推進と広報活動

【3項目】は、錠の輸出促進を図るための情報収集及び行政との相互理解

【4項目】は、「防犯の日」による国民の防犯意識向上を図る施策検討

【5項目】は、日本ロック工業会法人化の検討（社会的地位の向上）以上の5つの事業を基本方針とし、各部会・各対応チームが精力的・効率的に活動し、会員の皆様へのご期待に沿って参る所存でございます。

会員各位に於きましては設立目的を改めて確認して頂き、善良なる国民が、安心して生活できる世の中作りに貢献している団体として、今後も責任ある行動が大切であり、是非とも倍旧のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今後も当工業会にご協力・ご尽力をいただきます企業ならびに担当者の方々には改めて感謝と敬意を申し上げます。

日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、今年も当工業会の活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年5月27日
会長 加藤 海士郎



議長/加藤会長



佐佐木 研博・研修部会長



石川 敬典 会長



坂上 邦道 副会長



C.P.審査委員会の大副委員長



木村 善尚 副会長

第15期 日本ロック工業会新体制

会長	日本カバ株式会社	取締役会長	加藤海士郎
副会長	株式会社アルファ	代表取締役社長	木之瀬 茂
副会長	株式会社ユーシン・ショウワ	代表取締役社長	井門 厚
理事	株式会社オプナス	代表取締役社長	峯村 陽一
理事	株式会社川口技研	代表取締役社長	納口成一朗
理事	株式会社計電産業	常務取締役	林 誠二
理事	株式会社ゴール	代表取締役社長	岸本 俊仁
理事	株式会社 WEST inx	代表取締役社長	西 康雄
理事	美和ロック株式会社	代表取締役社長	和氣 英雄
理事	株式会社ユニオン	代表取締役社長	立野 純三
監事	株式会社ベスト	取締役相談役	太田 卓男



会長 加藤海士郎



副会長 木之瀬 茂



副会長 井門 厚



監事 太田 卓男

JISとして制定された「建築物錠-第1部：試験方法 A1541-1」及び「建築物錠-第2部：実用性能項目に対するグレード及び表示方法 A1541-2」に基づき JLMA が錠前を評定しグレードを認定した製品です。

申請社名	部品の区分	名称型式	対応詳細							性能表示							
			シリンダー	マスター 錠盤	サムターン	ハンドル	ストラ イク	鍵 数	バック セット	扉厚範囲	使用 環境	外力	使用部 の構造	かさ 違い	アッド 合わせ	新CA	
(株) オブナス	シリンダー	MMX011A	LA 互換								28~58	3	0	0	5	0	2
		MMX030A	LD 互換								33~58						
		MMX040A	PMK 互換								35~38						
		MMX041A	RA 互換								35~38						
		MMX050A	PG701 互換	○	-	-	-	-	-		40						
		MMX060A	LSP 互換								28~58						
		MMX061A	LSP 互換 (扉付)								-						
		MMX080A	TX 互換								28~58						
		MMX011B	LA 互換								28~58						
		MMX030B	LD 互換								33~58						
		MMX040B	PMK 互換								35~38						
		MMX041B	RA 互換								35~38						
		MMX050B	PG701 互換	-	-	-	-	-	-		40						
		MMX060B	LSP 互換								28~58						
		MMX061B	LSP 互換 (扉付)								-						
		MMX080B	TX 互換								28~58						
		MDX011A	LA 互換	○	-	-	-	-	-		28~58						
		MDX030A	LD 互換								33~58						
		MDX040A	PMK 互換								35~38						
		MDX041A	RA 互換								35~38						
		MDX050A	PG701 互換								40						
		MDX060A	LSP 互換								28~58						
		MDX061A	LSP 互換 (扉付)								-						
		MDX080A	TX 互換								28~58						
MDX011B	LA 互換								28~58								
MDX030B	LD 互換								33~58								
MDX040B	PMK 互換								35~38								
MDX041B	RA 互換								35~38								
MDX050B	PG701 互換	-	-	-	-	-	-		40								
MDX060B	LSP 互換								28~58								
MDX061B	LSP 互換 (扉付)								-								
MDX080B	TX 互換								28~58								

申請社名	部品の区分	名称型式	対応詳細							性能表示							
			-	-	鍵 (Δ)	ハンドル	-	鍵 数	バック セット	扉厚範囲	使用 環境	外力	使用部 の構造	かさ 違い	アッド 合わせ	新CA	
(株) 川口技研	錠前セット	LVS-□-△			M	32,33,37						28 以上 40 以下	3	0	2	0	0
					ND	38,41,42											
					MR	43,46,50											
					DR	52,54,56											
					K13	57,58,60											
					K13R	62,62A		1									
					H15	65,65A		3									
					SQ(L)	66,66A		4	51								
					PSQ(L)	67,68,69											
					NDSQ(L)	70,71,74											
					YB(L)	76,80,81											
					PYB(L)	81W,82											
		NDYB(L)	83,84														

申請社名	部品の区分	名称型式	対応詳細							性能表示						
			シリンダー	-	サムターン	-	ストラ イク	鍵 数	バック セット	扉厚範囲	使用 環境	外力	使用部 の構造	かさ 違い	アッド 合わせ	新CA
(株) ゴール	本錠前セット	*SK□-□	GV, V	-	標準 TM TMB TME TMK	-	標準 対置	5タイプ 6タイプ 7タイプ	64	31 以上 (実寸 34 以上) 43 未満	3	3	0	5	4	2
	シリンダー	D-TX(PX) シリンダー	D	-	-	-	-	-	-	31 以上 43 未満	3	0	0	3	0	2

申請社名	部品の区分	名称型式	対応詳細							性能表示						
			シリンダー	-	サムターン	ハンドル	ストラ イク	鍵 数	バック セット	扉厚範囲	使用 環境	外力	使用部 の構造	かさ 違い	アッド 合わせ	新CA
美和ロック(株)	本錠前セット	*DV□ *DV□□	UG,UR,PR JN,JC,LB	-	B5	-	標準 対置	1型 4型	31,38,51 64,75	29 以上 66 未満	3	3	0	5	4	2
	本錠前セット	*DVF□ *DVF□□	UG,UR,PR JN,JC,LB	-	B5	-	標準 対置	1型 4型	51,64	29 以上 66 未満	3	3	0	5	4	2
	主錠前セット	*RVH□ *RVH□-J	UG,UR,PR JN,LB	-	B5	PAPG,PH, PC,64	標準 対置	-	-	35 以上 41 未満	3	3	3	5	4	2
	本錠前セット	*FGV□BL	UG,UR,PR JN,LB	-	B5	-	標準 対置	1型 4型	51	29 以上 66 未満	3	3	0	5	4	2
	主錠前セット	*PGVF□-1 *PGVF□-1J *PGVF□-1BL	UG,UR,PR JN,JC,LB	-	B5	671	標準 対置	1型	64	36 以上 45 以下	3	3	3	5	4	2
	主錠前セット	*RLVF□DV-1 *RLVF□DV-1BL	PR,JN,JC LB	-	B5	777	標準 対置	1型	64	36 以上 45 以下	3	3	3	5	4	2
	主錠前セット	*PPVF□-1 *PPVF□-1J *PPVF□D-1 *PPVF□D-1J	UG,UR,PR JN,JC,LB	-	B5	801 802 803	標準 対置	1型	64	33 以上 50 未満	3	3	3	5	4	2

事業目的

暮らしを見つめ社会を支え未来を築く
「キーステーション」それが

JLMA® 〈ジルマ〉です。
The Japan Lock Manufacturer's Association

主要活動項目

1

使用者が適正な錠選択ができるよう、安全に関する錠の規格、基準、審査規定の制度および開示

6

国際競争力の強化の方針

2

エンドユーザーに対する錠の正しい「知識」と「防犯・防災」の啓発

7

関連海外企画資料の調査整備

3

関係業界との良好な関係の維持・発展

8

錠前取扱技術者資格認定制度の制定

4

関係官庁との情報収集と情報提供

9

ISO規格・JIS規格等の各種企画の整合性に関すること

5

会員相互及び関係業界との連絡・相談の窓口

10

関連法律に対する業界の統一対応

組織図 Organization Chart



正会員 (五十音順) Regular Member

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| ●株式会社 アート
ART JAPAN CO.,LTD. | ●株式会社 クローバー
CLOVER CO.,LTD. | ●東洋シャッター株式会社
TOYO SHUTTER CO.,LTD. | ●株式会社 ベスト
BEST Inc. |
| ●株式会社 アルファ
ALPHA Corporation | ●株式会社 計電産業
KEIDEN SANGYO CO.,LTD. | ●株式会社 長沢製作所
NAGASAWA MANUFACTURING CO.,LTD. | ●合資会社 堀商店
HORI LOCKS & BUILDER'S HARDWARE |
| ●株式会社 WEST inx
WEST INX CO.,LTD. | ●株式会社 ゴール
GOAL CO.,LTD. | ●日本カバ 株式会社
NIHON KABA K.K. | ●美和ロック 株式会社
MIWA LOCK CO.,LTD. |
| ●株式会社 オプナス
OPNUS CO.,LTD. | ●株式会社 シブタニ
SHIBUTANI CO.,LTD. | ●株式会社 日本ロックサービス
Nihon Lock Service co.,LTD. | ●株式会社 ユーシン・ショウワ
U-SHIN・SHOWA LTD. |
| ●株式会社 川口技研
KAWAGUCHI GKEN Inc. | ●株式会社 ジャパンモドリック
Japan modric ltd. | ●株式会社 日中製作所
HINAKA MFG CO.,LTD. | ●株式会社 ユニオン
UNION CORPORATION |

賛助会員 (五十音順) Supporting Member

- | | | | |
|--|--|---|--|
| ●アイホン 株式会社
APHONE CO.,LTD. | ●株式会社 大黒製作所
DAIKOKU DOOR LOCK CO.,LTD. | ●株式会社 栃木屋
TOCHIGYA CO., LTD. | ●株式会社 ブイ・シー・イー・ジャパン
VCE Japan Corporation |
| ●アトムリビテック 株式会社
ATOMURIVITECH CO.,LTD. | ●株式会社 ダイワロックス
Daiwa Locks CO.,LTD. | ●株式会社 トーヨーコー
TOYOKO CO.,LTD. | ●株式会社 フキ
FUJI CO.,LTD. |
| ●共栄工業 株式会社
KYOEI INDUSTRIES Co.,LTD. | ●タキゲン製造 株式会社
TAKGEN MFG. CO.,LTD. | ●株式会社 ニッケンハードウェア
NIKKEN HARDWARE CO.,LTD. | ●マツ穴 株式会社
MATSUROKU CO.,LTD. |
| ●株式会社 五味製作所
Gomi Company Limited | ●東急建設 株式会社
TOKYU CONSTRUCTION CO.,LTD. | ●日本ロックセキュリティ協同組合
The Co-operative Association of Japan Lock Security | ●株式会社 ミズタニ
MIZUTANI CO.,LTD. |
| ●杉田エース 株式会社
SUGITA ACE CO.,LTD. | ●株式会社 トーショビルサービス
TOSHO BUILDING SERVICE ,LTD. | ●株式会社 ファースト・ロック
FIRST LOCK CO., LTD. | ●株式会社 ヤナイ
YANAI COMPANY LTD. |

平成25年度事業計画

● 業務・研修部会 Activities and Training Committee

1. 実用性能認定制度における製品申請を促進させるため、各社の申請準備状況を把握する。
(今期早々に2社製品申請、1社試験所申請予定) また実用性能認定錠の検索システムをホームページ上に構築する。
2. 実用性能認定制度・保守点検制度・耐用年数の認知活動と広報活動を行う。
①ALIAの住宅部品点検推進部会のシンポジウムに参加。
②各種講演会に部会として講師を派遣。
③サッシ協会、シャッター・ドア協会、軽量鋼製ドア協議会等と連携を図る。
3. JETRO、経産省等を通じ海外での日本の錠の普及促進のための情報収集活動を行う。
4. 警察庁「全国地域安全運動」(10/11～20日)、全国防犯協会連合会「安全・安心な街づくりの日」(10/11)、リビングアメニティ協会「住宅点検の日」(10/10)、官民合同会議「5団体防犯建物部品普及促進協議会」等の防犯活動と連携を取り「防犯の日」の展開について検討をする。
5. 法人化の検討に関しては、理事会の決定に基づき活動する。
6. 新規会員募集として事務局と連携し、官民合同会議の各団体に再度入会要請を行う。

● 技術部会 Technology Committee

1. 実用性能認定制度の運用への協力 試験実施要領書(要請に応じ)に見直しを検討する。
2. JIS規格改正に向けた準備
①JIS規格A1541-1/2の見直し
3. JLMA規格の新基準の作成
①JLMA規格の新規作成
1) グレモン錠の規格書完成
2) 非常錠としての規格書の作成。
3) デジタルドアロックの評価基準の検討
②JLMA規格の見直し
錠の標準仕様JLMA A2005-1,-2,-3の見直し。特に、錠の切欠き寸法に関し、Cjk(長期使用住宅部材標準化推進協議会)の基準書の切欠き寸法を取り込む。将来的に、新JIS規格として提案する。
4. 日本サッシ協会試験規格部会・国際対応部会への参加
①1回/月参加(3名予定)
5. IEC/TC79デジタルドアロック規格作成への参加
10月ミラノでの国際会議(2名派遣)を予定。

● 制度部会(実用性能審査会) Systems Committee

1. 実用性能認定制度：製品申請及びグレード表示の促進(実用性能審査会WG)
①実用性能審査会WGは、制度部会の下部組織として活動
②新規JLMA試験所審査、製品審査、試験所サーベイランスの実施
計画：新規試験所審査1社(時期未定)、試験所サーベイランス5社(12月迄)
③製品申請の受付及び審査
計画：随時受付
④製品申請受付と審査体制の準備と作業の効率化の検討推進。
計画：各社の製品の申請内容や状況を確認し、継続的に検討
⑤実用性能認定制度・各実施要領書の見直し改訂による2013年度版の発行
計画：2013年度版は、理事会承認後発行し引続き定期見直しを含め運用状況を監視しながら継続的に実施
2. 錠の保守点検制度：仮運用における問題点の整理(管理委員会)
①保守点検制度WGメンバーは、JLとの合同の管理委員会へ移行し活動
②管理委員会による実施運用状況の定期的フォローアップの実施及び災害時の錠の保守点検制度活用の検討。
計画：JL側との定期会合(管理委員会)による意見交換により、推進策の検討。
3. 横断的活動
①JLMAマーク(実用性能認定制度)の認知度の向上
②「耐用年数ガイドライン」の周知活動
計画：事務局広報及び業務研修部会との連携により、関連諸団体への周知活動のサポートを適時実施。
4. 会議開催
①実用性能認定制度審査委員会 2回/年
②実用性能審査会WG会議(合同) 6回/年
③実用性能審査会WG分科会(関東) 6回/年
④実用性能審査会WG分科会(関西) 6回/年
⑤JLMA試験所サーベイランス6件(1件+6件)
⑥JLMA/JL保守点検管理委員会会議 4回/年

● CP 審査委員会 CP Screening Committee

1. 官民合同会議関連の全ての審査

- ①官民試験（一般錠＋電気錠）／ピッキング性能試験
 1) 平成 25 年 04 月 24 日／第 17 回官民試験／アルファ本社
 2) 平成 25 年 09 月／第 18 回官民試験／アルファ本社
 3) 随時／ピッキング性能試験／JLMA 事務局
 ※永続的な内部規定の見直しで CP 製品の普及促進を図る

②CP 試験員 WG（旧：一般試験員講習会指導）

- 1) 平成 25 年 09 月／一般試験員の体力確認／港北スポーツセンター横浜
 ※一般試験員の適正体力を確認する
 2) 平成 25 年 09 月／一般試験員技量の維持と均一化／アルファ本社
 ※バランスの良い技能講習内容と受講者の選出を行う（全員受講が困難な為）
 ※ベテラン試験員の技量維持と若手試験員の技量の底上げを図る

2. JLMA 内の技術的・案件に対する全ての審査

- ①CP 審査委員会 ※CP 製品追加・変更申請の審査とその他技術的・案件の審査を行う
 ・平成 25 年 04 月 24 日／第 1 回／アルファ本社
 ・平成 25 年 08 月／第 3 回／JLMA 事務局
 ・平成 25 年 10 月／第 5 回（CP 試験開催）／アルファ本社
 ・平成 26 年 02 月／第 7 回（CP 受付）／JLMA 事務局
 ・平成 25 年 06 月／第 2 回／関西地区
 ・平成 25 年 09 月／第 4 回（CP 受付）／JLMA 事務局
 ・平成 25 年 12 月／第 6 回／関西地区
 ・平成 26 年 03 月／第 8 回（CP 試験開催）／アルファ本社
- ②電気錠基準 WG（旧：CP 電気錠基準書見直し WG）
 ※CP 電気錠の普及促進を目的とした CP 電気錠基準書改定と適切な広報
 ※電気的認証装置を含む電気錠システムの JLMA 規格制定（一般公開）を検討する
- ③予備審査管理 WG（旧：官民試験省略基準作成 WG）
 ※CP 試験内規と基準管理を通じて実試験省略の目安を随時具現化していく
 ※ピッキング性能試験の追加事項等の制定を行う

3. 自主点検委員会

- ①第 8 回自主点検実施
 ・平成 25 年 06 月／事前打合せ～詳細決定／関西地区
 ・平成 25 年 08 月（2 日間）／点検実施／JLMA 事務局
 ※対象 50 品目前後／前年なかった電気錠を含む
- ②是正確認
 ・平成 25 年 10 月／アルファ本社



● 事務局 Secretariat

1. 実用性能認定制度における製品申請の促進とグレードによる錠選択の環境整備
 ①JLMA 試験所の試験結果の採用を公共建築協会へ打診する。そのためにも、グレード表示された製品の実績を積み重ねる。
 ②BL 認定基準の申請を促し JLMA 試験所結果の実績を積み重ねる。
 ③実用性能広報パンフレットを作成し周知を促す。
2. 災害時（首都直下型地震等自然災害・火災）に備えた錠の保守点検制度および錠の耐用年数ガイドラインの推進と広報活動
 ①官公庁・関連団体への周知活動
 ②JL との連携による一般社会への周知活動
3. 錠の輸出促進を図るための情報収集及び行政との相互理解
 ①行政（経済産業省）への情報収集を図り、錠の法律・規格・防犯等における性能の優位性を輸出促進へつなげる。
4. 「防犯の日」による国民の防犯意識向上を図る施策検討
 ①リビングアメニティ協会が推進する「住宅部品点検の日（10 月 10 日）」を活用し、国民の防犯意識の向上を図る。
 ②JL が推進する「ロックの日（6 月 9 日）」の活動に協力し、錠の点検を促す。
 ③全国防犯協会連合会と共に「安心・安全なまちづくりの日（10 月 11 日）」を活用し、国民の防犯意識の向上を図る。
 上記の活動に参画することにより JLMA として、3 回／年の防犯活動を展開し防犯意識の向上を図る。
5. 日本ロック工業会法人化の検討（社会的地位の向上）
 ①一般社団法人化に係る費用を算出し、移行による経済的な効果を検討する。
 ②就業規則の作成を図る。

24年度 総会・理事会・部会活動経過

理事会

○平成24年12月03日 第45回 定時理事会

■場 所 京都ホテルオークラ：京都

■議案内容

- 第1号議案 立正大学小宮信夫教授ご紹介
- 第2号議案 各部会活動中間報告ならびに承認の件
- 第3号議案 日本ロックセキュリティ協同組合意見交換会報告・承認の件
- 第4号議案 第6回防犯建物部品自主点検委員会報告・承認の件
- 第5号議案 中間収支報告の件
- 第6号議案 その他

以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。



第45回定時理事会会長挨拶

○平成25年04月22日 第46回 定時理事会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議案内容

- 第1号議案 第15期役員（理事・監事）（案）決定承認の件
- 第2号議案 第15期役員（会長・副会長）（案）決定承認の件
- 第3号議案 第15期部会担当会社（部会長・副部会長・部員）決定承認の件
- 第4号議案 第14期事業報告書（案）承認の件
- 第5号議案 第14期収支決算報告書（案）承認の件
- 第6号議案 第15期収支予算（案）承認の件
- 第7号議案 第15期事業計画（案）承認の件
- 第8号議案 錠の実用性能表示認定品目申請等承認の件
- 第9号議案 その他

以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。



第46回定時理事会会長挨拶

業務・研修部会

○平成24年06月21日 第139回 業務・研修部会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

1. 平成24年度スチールドア契約適正化全国研修会にて使用する説明会資料作成

○平成24年07月03日 第140回 業務・研修部会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

1. 平成24年度スチールドア契約適正化全国研修会打ち合わせ
2. 今後についての方向性確認
3. その他

○平成24年08月07日 第141回 業務・研修部会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

1. 平成24年度スチールドア契約適正化全国研修会資料作成
2. 日程確認
3. その他

○平成24年10月05日 第143回 業務・研修部会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

1. CP製普及促進WG報告
2. チェンジキーのBL認定について
3. 実用性能表示フロー打ち合わせ
4. 6月9日（ロックの日）の今後の展開について
5. 保守点検認定制度のPR先の検討
6. MK、ID媒体の情報管理の検討

○平成24年09月05日 第142回 業務・研修部会

■場 所 日本ロック工業会：東京

■議事内容

1. スペアキー作成業者登録の件
2. 空き家物件対応について
3. 錠の実用性能表示認定品目作成について
4. 「ロックの日」の考え方
5. 保守点検認定制度の広報活動について
6. 日本サッシ協会スチールドア研修会資料の件
7. CP製普及促進WG報告の件
8. 24年度事業計画進捗状況
9. 会員会社募集について



第142回業務・研修部会

業務・研修部会

○平成24年11月22日 第144回 業務・研修部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 24年度事業計画及び「ロックの日」について
- 2. 警察大学校講師派遣について
- 3. サッシ協会向け講習会について
- 4. ステールドア研修アンケートについて
- 5. チェンジキーのBL認定について
- 6. 24年度事業計画課題について
- 7. 会員脱会報告

○平成24年12月12日 第145回 業務・研修部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 理事会報告
- 2. スペアキー登録制度 WG 報告
- 3. 防犯の日について
- 4. チェンジキーのBL認定について
- 5. その他

○平成25年02月06日 第146回 業務・研修部会

- 場 所 (一財)ベターリビング：東京
- 議事内容
- 1. 「ロックの日」展開の件
JL事務局、JLMA事務局、BL担当との打ち合わせ

○平成25年02月08日 第147回 業務・研修部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 会長挨拶
- 2. 2013セキュリティショー開催の件
- 3. 錠の耐用年数パンフレットについて
- 4. JLへの依頼事項について
- 5. チェンジキーのBL認定について
- 6. 次回会議予定

○平成25年03月14日 第148回 業務・研修部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 会長挨拶
- 2. 事務局報告
- 3. JL、JLMA 意見交換会について
- 4. 今年度事業計画について

〈CP錠普及促進WG〉

○平成24年09月27日 第1回JL合同WG

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 加藤会長挨拶
- 2. 各メンバー自己紹介
- 3. JL 中部ブロックのモデルケースを報告 (JL 伊藤副理事長)
- 4. JL 作成作業伝票について
- 5. CP 錠普及促進フリートーキング
- 6. 次回開催予定



第1回JL合同WG

○平成24年10月29日 第2回JL合同WG

- 場 所 愛知県警察本部：愛知
- 議事内容
- 1. 愛知県警察本部 防犯実務専科事前打ち合わせ
- 2. 講習内容の確認

技術部会

○平成24年07月20日 第88回 技術部会

- 場 所 大阪府立労働センター：大阪
- 議事内容
- 1. JIS規格改正と実用性能見直し
- 2. グレモン錠の規格化検討について
- 3. 公共建築協会の評価基準について
- 4. デジタルドアロック報告

○平成24年09月21日 第89回 技術部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 前回議事録確認
- 2. 公共建築協会の評価基準について
- 3. デジタルドアロック国際会議報告に関して
- 4. グレモン錠規格化について
- 5. JIS規格改正と実用性能の見直し



第89回 技術部会

技術部会

○平成24年11月09日 第90回 技術部会

- 場 所 大阪府立労働センター：大阪
- 議事内容
 1. 公共建築協会の評価基準（平成25年度版）について
 2. グレモン錠の規格化について
 3. その他

○平成25年01月18日 第91回 技術部会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 部会長からH25年度活動方針について
 2. 部会員の交代（(株)ゴール）
 3. 前回議事録の確認
 4. チェンジキーシステムのBL製品認定について
 5. グレモン錠の規格化について
 6. サッシ協会勉強会報告
 7. デジタルドアロック（DDL）について
 8. 錠の標準仕様について（JLMA A2005-1、2、3）
 9. その他

○平成25年03月15日 第92回 技術部会

- 場 所 大阪府立労働センター：大阪
- 議事内容
 1. グレモン錠の規格化について
 2. 錠の標準仕様（JLMA A2005-1-2-3）見直し
 3. JIS改定・制定の事前届け出に関する件
 4. 取替え市場の情報交換と対応

〈JIS改正内部委員会〉

○平成24年06月15日 第2回 JIS改正内部委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. JIS規格改定にむけた問題点の整理
 2. その他意見交換



第2回 JIS改正内部委員会

○平成24年08月24日 第3回 JIS改正内部委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 前回議事録確認
 2. JISA1541-1or2改正検討一覧表に審議内容を記録する
 3. その他追加編集について



第3回 JIS改正内部委員会

○平成24年10月26日 第4回 JIS改正内部委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 前回議事録の確認
 2. ハンドルの引張試験の件に関する各社検討の件

○平成24年12月21日 第5回 JIS改正内部委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. JLMA A 2001-1 Ver.5 2012026版、JLMA A 2001-2 Ver.4の確認作業
 2. その他

○平成25年02月15日 第6回 JIS改正内部委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. JLMA A 2001 Ver 20121221 版の確認作業
 2. 実用性能審査会からの検討依頼事項
 3. キーによる耐久性能の件

制度部会

〈日本サッシ協会スチールドア契約適正化全国研修会〉

〔日本サッシ協会合同打合せ〕

○平成24年07月19日 第2回スチールドア契約適正化全国研修会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 平成24年度スチールドア契約適正化全国研修会打ち合わせ
 2. その他意見交換

○平成24年09月26日 第3回スチールドア契約適正化全国研修会

- 場 所 日本サッシ協会：東京
- 議事内容
 1. 全国研修会向け資料最終打ち合わせ
 2. その他確認事項



第3回スチールドア契約適正化全国研修会

制度部会

○平成24年10月11日 第4回スチールドア契約適正化全国研修会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. H24年度スチールドア契約適正化全国研修会資料最終確認
- 2. 最終日程確認

○平成24年10月15日～25日

第5～15回スチールドア契約適正化全国研修会実施

- 第5回 10/15 〈東京地区〉 亀戸文化センター9階 展示室
- 第7回 10/19 〈札幌地区〉 北海道中小企業会館
- 第8回 10/19 〈名古屋地区〉 東別院会館「蓮の間」
- 第11回 10/24 〈大阪地区〉 大阪リバーサイドホテル4F 605号室
- 第13回 10/24 〈福岡地区〉 福岡商工会議所 地下1階
- 第15回 10/25 〈埼玉地区〉 大宮ソニックシティ 905号室



東京会場での全国研修会風景 参加者53名（亀戸文化センター）

〈実用性能審査委員会〉

○平成24年07月27日 第8回 実用性能審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 実用性能認定制度における製品適合性審査の承認（1社8製品9品目）
- 2. 試験所適合性審査の承認（4社）



オブザーバー参加で挨拶をする経産省岩村課長補佐

○平成25年03月28日 第9回 実用性能審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 製品審査（3社9品目）
- 2. 実施要領書改定内容の承認



左から経産省岩村課長補佐、小宮委員長（立正大教授）
鈴木委員（建材試験センター）、齊藤委員（BL）

〈実用性能審査会〉

○平成24年06月08日 第32回 実用性能審査会

- 場 所 クレオ大阪：大阪
- 議事内容
- 1. 東日本分科会報告：予備審査、スケジュール確認
- 2. 西日本分科会報告：2社の予備審査、スケジュール確認
- 3. 3社サーベイランススケジュール確認
- 4. 1社サーベイランス結果呈正報告
- 5. 予備審査報告
- 6. 製品申請表現方法について

○平成24年07月26・27日 第33回 実用性能審査会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 試験所適合性認定への申し込み申請及び製品申請内容確認
- 2. その他確認事項

○平成24年09月19日 第34回 実用性能審査会

- 場 所 クレオ大阪西：大阪
- 議事内容
- 1. 事務局連絡
- 2. 製品評価方法について
- 3. 各社製品申請状況報告
- 4. JIS改訂について
- 5. 審査会研修方法について

○平成24年11月13日 第35回 実用性能審査会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 製品申請とグルーピングの検討
- 2. 製品の評価方法（評価基準）の検討
- 3. 審査会研修方法についての検討
- 4. 各社製品申請の状況報告
- 5. 理事会報告

○平成25年01月25日 第36回 実用性能審査会

- 場 所 大阪市中央公会堂：大阪
- 議事内容
- 1. 製品申請とグルーピングの検討（各分科会）
- 2. 試験所変更箇所申請内容について（各分科会）
- 3. 審査会メンバー資格・教育について（各分科会）
- 4. ハイトゲージ等JISの表記について
- 5. 各社製品申請の状況報告と耐震性能試験見積の件

○平成25年03月27日 第37回 実用性能審査会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
- 1. 製品審査（3社9品目）
- 2. 実施要領・各附則の改定作業

制度部会

〈審査会・東日本分科会〉

○平成24年10月30日 第12回 審査会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 申請製品のグルーピング及び製品評価方法
 2. 審査会研修について



第12回実用性能認定制度東日本分科会

○平成25年03月12日 第13回 審査会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 製品申請予備審査
 2. 要領書の改正内容検討



第13回実用性能認定制度東日本分科会

〈審査会・西日本分科会〉

○平成24年10月25日 第9回 審査会

- 場 所 クレオ西：大阪
- 議事内容
 1. 製品申請方法について
 2. 試験所についての変更申請のケース考察
 3. 代表試験ガイドラインについて
 4. ハイトゲージ等のJIS表記について

○平成25年03月07日 第10回 審査会

- 場 所 クレオ西：大阪
- 議事内容
 1. G社製品申請予備審査結果
 2. 試験所の変更申請について
 3. 2013年2月15日開催のJIS改訂内部委員会の見解について

〈試験審査委員会〉

○平成24年06月27日 第2回 試験審査委員会

- 場 所 シブタニ：大阪
- 議事内容
 1. 追加・変更申請 3社6品目
 2. 自主点検実施関係の件
 3. CP試験員技能講習の件
 4. その他

〈保守点検制度管理委員会〉

○平成24年07月18日 第3回 保守点検制度管理委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 各委員の紹介
 2. JL組合員の質問事項について
 3. 保守点検費用について
 4. その他

○平成24年06月22日 第3回 サーベイランス

- 場 所 ユニオン：大阪
- 議事内容
 1. 実用性能製品認定試験所適合性サーベイランス
 2. まとめ



第3回 保守点検制度管理委員会

○平成24年07月06日 第4回 サーベイランス

- 場 所 ゴール：佐賀
- 議事内容
 1. 実用性能製品認定試験所適合性サーベイランス
 2. まとめ



実用性能認定制度 G社試験所適合性サーベイランス

○平成24年09月25日 第4回 保守点検制度管理委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 議事内容
 1. 保守点検報告書作成の検討（メンバー各員で作成例の確認）
 2. 保守点検基準価格設定について
 3. その他 / 「ロックの日」「保守点検」広報掲載紙等の報告



第4回 保守点検制度管理委員会

官民合同会議試験

○平成24年11月02日 第16回 官民合同会議試験

■場 所 アルファ：横浜

■協議事項

1. 耐ピッキング試験
2. 第16回官民第1系列試験（メカ・電気）実施
3. 第16回官民第2系列試験実施



第16回 官民合同会議再試験

○平成24年12月17日 第16回 官民合同会議試験

■場 所 アルファ：横浜

■協議事項

1. 錠、電気錠、シリンダー及びサムターン防犯性能試験
2. 2社3製品（第一、第二系列試験）
3. その他



第16回「官民合同会議再試験結果を検討する試験員」

ピッキング性能試験

○平成24年11月02日 第18回 ピッキング性能試験

■場 所 株式会社アルファ本社：横浜

■試験内容

1. 第1系列試験
2. 第2系列試験
3. ピッキング性能試験実施



第18回 官民合同会議試験

○平成25年03月19日 第19回 ピッキング性能試験

■場 所 日本ロック工業会：東京

■試験内容

1. ピッキング法に基づく耐ピッキング性能試験（1社1品目）
2. CP新規申請（1社1品目）及び追加・変更申請（2社3品目）



第19回 ピッキング性能試験

官民試験員講習会及び体力測定

○平成24年09月13日 運動能力測定

■場 所 横浜市港北スポーツセンター：横浜

■議事内容 一般試験員登録／15名 特殊技能試験員登録／5名



事務局長による測定前ミーティング



反復横跳び測定の様子

○平成24年09月14日 講習会

■場 所 アルファ：横浜

■講習内容 ドリリング試験講習 シリンダーもぎ取り試験講習



官民合同会議試験の様子

CP審査委員会

○平成24年06月27日 第119回 CP審査委員会

- 場 所 シブタニ：大阪
 ■議事内容
 1. 追加・変更申請 3社6品目
 2. 自主点検実施開催の件
 3. CP試験員技能講習の件
 4. その他

○平成24年08月22日 第120回CP審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. 追加・変更申請 3社18品目
 2. 官民合同会議一般試験員講習について（詳細と備品購入）
 3. 自主点検委員会の確認
 4. ピッキング法受験要領書承認の件
 5. 官民合同会議試験について
 6. 次回予定

○平成24年09月28日 第121回 CP審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■試験内容
 1. 追加・変更申請
 2. 官民合同会議「錠」試験受付2社2品目（電気錠・シリンダー）
 3. ピッキング性能試験受付1社1品目
 4. 一般試験員登録の承認



第121回 CP試験審査委員会

○平成24年11月02日 第122回 CP審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. 耐ピッキング試験
 2. 第16回官民第1系列試験（メカ・電気）実施
 3. 第16回官民第2系列試験実施

○平成24年12月17日 第123回 CP審査委員会

- 場 所 アルファ：横浜
 ■議事内容
 1. 錠、電気錠、シリンダー及びサムターン防犯性能試験
 2. 2社3製品（第一、第二系列試験）
 3. その他

○平成25年02月01日 第124回 CP審査委員会

- 場 所 シブタニ：大阪
 ■議事内容
 1. 追加・変更申請（自主点検指図書事項の対応）3社3品目
 2. 官民合同会議申請予備審査2社2品目
 3. 次年度活動計画について
 4. 技術部会に対する依頼事項について

○平成25年03月19日 第125回 CP審査委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. ピッキング法に基づく耐ピッキング性能試験（1社1品目）
 2. CP新規申請（1社1品目）及び追加・変更申請（2社3品目）



第125回試験審査委員会 ピッキング試験の様子

自主点検委員会

○平成24年06月27日 第28回 自主点検委員会

- 場 所 シブタニ：大阪
 ■議事内容
 1. 追加・変更申請 3社6品目
 2. 自主点検実施開催の件
 3. CP試験員技能講習の件
 4. その他

○平成24年08月23・24日 第29回 自主点検委員会

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. 自主点検各社の対象製品受け入れ確認
 2. 確認試験機等の準備
 3. 7社42品目の自主点検実施
 4. その他確認事項について



第29回 自主点検実施における確認作業

部会長会議

○平成24年11月20日 第1回 部会長会議

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. 平成24年度中間活動報告
 2. その他

○平成25年01月16日 第2回 部会長会議

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■議事内容
 1. スペアキー登録業者登録WG方針の件（JLとの合同案）
 2. 「ロックの日」展開の件（JLとの合同案）
 3. メーカー作製合鍵の表示方法の件（JL意見交換会より）
 4. マスターキー表示の件（JL回答済み）
 5. チェンジキーBL回答の件（薬務・研修部会）

5 団体防犯建物部品普及促進協議会

The Japan Lock Manufacturers Association

○平成 24 年 06 月 25 日 第 120 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 警察学校「防犯実務専科」について（警察庁）
 2. 5 団体パンフレット「防犯建物部品のおすすめ！CP でわが家の防犯」検討について
 3. 第 6 回「地域防災・防犯展大阪」展示会結果報告

○平成 24 年 10 月 22 日 第 121 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 前回議事録確認
 2. 日程セキュリティショー（東京ビッグサイト）出展について
 3. 検討課題
・地方事例（福岡県住宅D-7優遇）の拡大展開について
・国文書の報告内容に関する警察庁との取り組みについて
 4. その他



第 121 回 5 団体普及促進協議会

○平成 24 年 11 月 20 日 第 122 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 前回議事録確認
 2. 日程セキュリティショー（東京ビッグサイト）出展について
 3. その他 ・警察大学校での技能講習依頼



第 122 回 5 団体普及促進協議会

○平成 24 年 12 月 18 日 第 123 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 前回議事録確認
 2. 5 団体パンフレット修正確認について
 3. その他
・「はなまるマーケット」防犯特集に CP 製品の映像（防犯試験）を放映

○平成 25 年 01 月 22 日 第 124 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 5 団体用パンフレットリニューアル最終確認について
 2. セキュリティショー展示方法の検討
 3. 防犯商品以外の展示（防災対策商品等）提案
 4. 添付資料（会議議事録案）の確認
 5. その他

○平成 25 年 02 月 25 日 第 125 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. 前回議事録確認（防犯・防災総合展 IN KANSAI 2013 参加について）
 2. 5 団体パンフレット修正確認について
 3. ガラス破壊（焼き割り）について
 4. 次回会議の開催予定



第 125 回 5 団体普及促進協議会

○平成 25 年 03 月 25 日 第 126 回 5 団体普及促進協議会

- 場 所 日本シャッター・ドア協会：東京
■議事内容
1. SECURITY SHOW 開催状況報告、課題について
 2. 5 団体新パンフレット状況について
 3. （一社）全防衛設立について
 4. 警視庁「防犯指導車」改修に伴う製品見積もりの件
 5. 来年度の官民合同会議開催について

セミナー講演等

○平成 24 年 06 月 26 日

第 14 回 NPO 法人大阪府館前技術者防犯協力会研修会

- 場 所 ホテルアウィーナ大阪：大阪
■議事内容
- 平成 24 年度定例会ならびに協力会創立 10 周年記念式典
総会では坂上部長が「錠の耐用年数についてのガイドラインならびに錠の保守点検制度について」の講演を行った。また、記念式典では加藤
会長が来賓として挨拶した。

○平成 24 年 12 月 19 日

第 2 回 日本サッシ協会グレード表示説明会

- 場 所 日本サッシ協会：東京
■議事内容
1. 錠の JIS グレードおよび耐用年数に関する説明（JLMA）
 2. 参加者 = 日本サッシ協会から 12 社 13 名の参加

警察関連講演等

○平成 24 年 10 月 31 日 第 1 回 関東管区警察学校講義

- 場 所 関東管区警察学校：東京（参加者=30名）
- 講義内容
 1. 錠の構造
 2. ピッキング&サムターン解説について
 3. CP錠の性能と効果について



勉強会講師の森下部会員

○平成 25 年 01 月 23 日 第 2 回 防犯実務専科教養

- 場 所 大阪府警察学校：大阪
- 講義内容（講師=（株）ゴール 東氏、土井氏）
 1. 最新の防犯設備・機器の概要と効果的な活用について
（教養対象者=巡査部長、巡査長及び巡査 23 名）

○平成 25 年 02 月 13 日

第 3 回 建物防犯に関する知識・技能専科

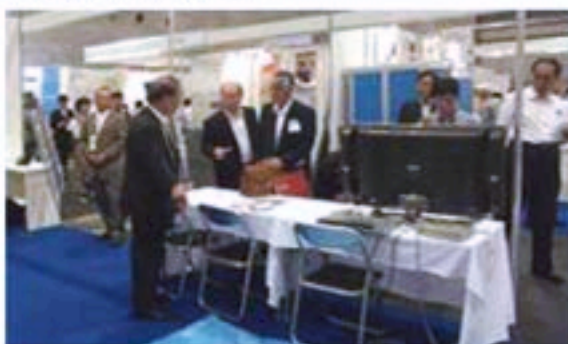
- 場 所 警察学校：東京
- 講義内容（講師=実務・研修部会 森下氏、木下氏）
 1. 第 3 時限目→錠の種類と構造
 2. 第 4 時限目→防犯性能の高い錠の開発について

防犯建物部品「CP錠」の普及活動

○平成 24 年 06 月 07・08 日

第 6 回「地域防災・防犯展大阪」展示会

- 場 所 インテックス大阪：大阪
- 内 容
 1. 防犯建物部品の展示（CP錠・CPウインドフィルム・CPパンフレット）
 2. 実演サンプル（ガラス割りの実演を実施）
 3. 5 団体パンフレット配布



○平成 25 年 01 月 15～18 日 横浜磯子区防犯展

- 場 所 磯子区役所：横浜
- 内 容（目的/区民の防犯意識向上）
 1. 住まいの防犯対策パネル展示
 2. 防犯性能の高い建物部品展示
 3. 安全・安心まちづくりポスター展示



CP 部品（錠）を中心にポスター、パンフレットを展示

○平成 25 年 03 月 06～08 日 SECURITY SHOW 2013

- 場 所 東京ビッグサイト：東京
- 内 容
 1. 5 団体協議会として JLMA は CP 電気錠を中心に展示
 2. SECURITY SHOW 来場者合計=149,923 人（昨年=148,928 人）



日本ロックセキュリティ協同組合意見交換会

○平成 24 年 11 月 16 日 第 1 回 JL、JLMA 意見交換会

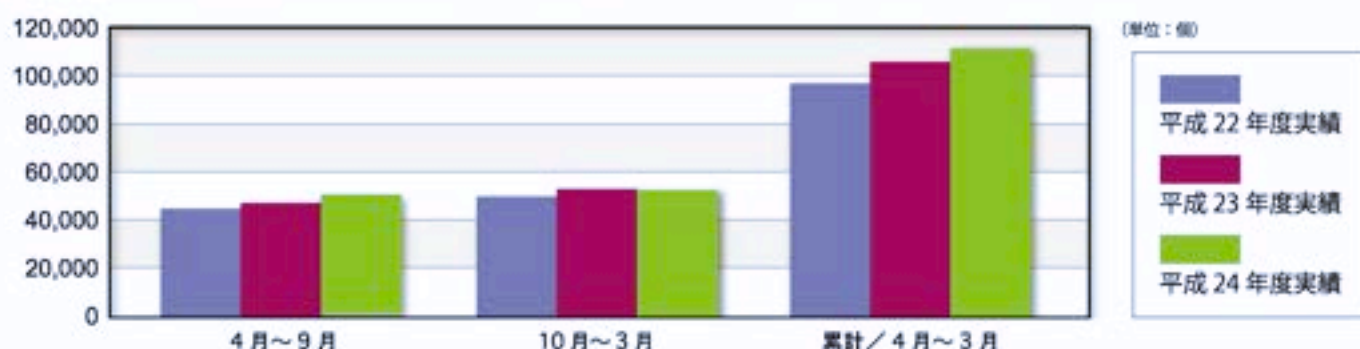
- 場 所 椿山荘タワー 8F：東京
- 議 題
 - 第 1 号議題 JL の今後の活動計画について
 - 第 2 号議題 JLMA の今後の事業計画について
 - 第 3 号議題 錠の保守点検制度の進捗状況報告と今後の展開
 - 第 4 号議題 「ロックの日」の展開について（JL、JLMA）
 - 第 5 号議題 その他

23年度JLMA防犯建物部品の普及情報

名称	種別	上期/平成24年4月～9月			下期/平成24年10月～平成24年3月			年間/平成24年4月～平成25年3月		
		指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠
シリンダー錠		1,803,188	51,146	2.84%	1,892,985	56,226	2.97%	3,696,173	107,372	2.90%
シリンダー		1,314,008	178	0.01%	1,427,895	230	0.02%	2,741,903	408	0.01%
サムターン		113,564	4,133	3.64%	122,931	2,071	1.68%	236,495	6,204	2.62%
平成24年度実績		3,230,760	55,457	1.72%	3,443,811	58,527	1.70%	6,674,571	113,984	1.71%
平成23年度実績		3,027,414	46,014	1.52%	3,412,625	58,935	1.73%	6,440,039	104,949	1.63%
平成22年度実績		2,943,386	44,853	1.52%	3,515,401	51,657	1.47%	6,458,787	96,510	1.49%

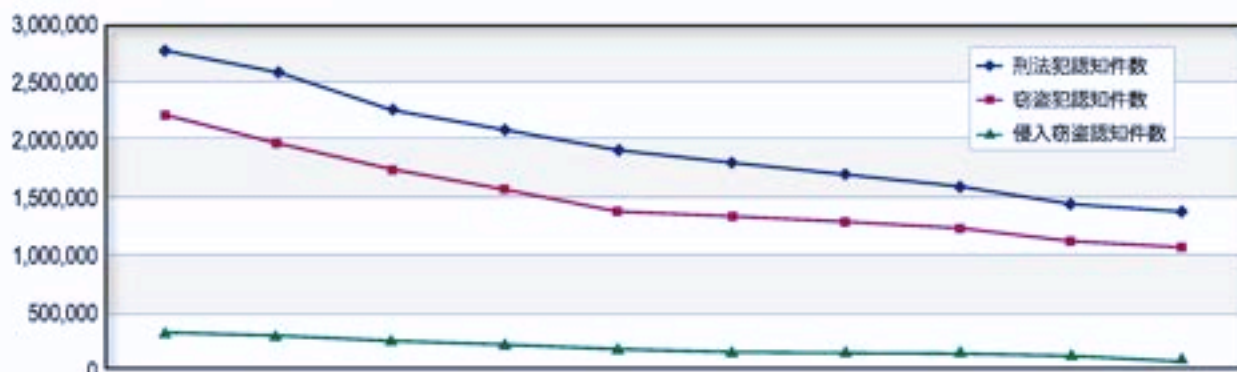
(単位：個)

防犯建物部品出荷数推移比較 (平成22年度・平成23年度・平成24年度)



◇平成24年度の指定建物錠の合計出荷数量は、前年比23万4500個、103%と増加した。
防犯建物部品の出荷数量も、前年度の108%と増加。防犯建物部品が指定建物錠総数に占める割合も前年度1.63%から1.71%に増加しており、わずかながらこの二年間で上昇傾向にある。今後もCP普及促進に向けて、業界全体への周知徹底が必要。

警察庁統計 認知件数



(単位：件)

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
刑法犯認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121
窃盗犯認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	1,133,125	1,040,447
侵入窃盗認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,079	115,155

出典：警察庁

◇刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、以後、平成16年は8.1%、平成17年は11.5%、平成18年は9.6%、平成19年は6.9%、平成20年は4.8%、平成21年は6.3%、平成22年は6.9%、平成23年は6.6% (10万5,091件)と9年連続減少した結果、平成22年の認知件数は148万765件となり、平成14年と比べ48.1%減少しているものの、更なる消費者の防犯に対する意識を高め、JLMAの定める防犯建物部品を選択してもらえよう取組みが必要である。

第14回 定時総会懇親会



懇親会の全景

平成25年度 第14回定時総会懇親会は、5月27日（月）に東京都千代田区霞ヶ関の法曹会館「富士」において、加藤会長の開会挨拶に始まり、ご来賓の国土交通省の中野様、経済産業省の土橋様、続いて警察庁の内田様からお祝辞をいただき、関係団体の皆様25団体38名のご臨席を賜り盛大な会が執り行われました。



国土交通省
副長補佐 中野様

経済産業省
企画官 土橋様

警察庁
対策官 内田様

会長の挨拶
加藤会長

乾杯の挨拶
木之瀬副会長

中締めの挨拶
井門副会長

受付の森脇さん（左）と
司会を務めた益田さん

「日本ロック工業会 第14回 懇親会」会長挨拶

ただいま紹介いただきました、会長の加藤でございます。

第14回定時総会を終え、その後の皆さま方をお招き申し上げましたの親睦会でございます。これは私の年一回の楽しみであり、皆様にお会いできることを大変うれしく思っている次第でございます。

当工業会の発展は、本日お集まりの方々の方々の心からのご理解とご支援を賜り今日に至っておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

先ほど終わりました第14回定時総会でございますが、いろいろな議案が提示されましたがつつがなく承認を頂き、すべて成立した事をご報告させていただきます。

最後の第5号議案による役員改選でございますが、今回の承認をもちまして全役員が一期二年の重任となり、あと二年間頑張らなければならない意思のもと原点に戻って対応することになりましたので、どうか引き続き皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

昨今の世の中も色々と変化して来ておりますが、同時に我々の事業の要でございます新築物件着工数につきましても今迄70万戸台に落ち込んでいましたが、4年前から徐々に上昇してきており、今期においては、89万戸から90万戸に乗ってくるだろうという期待感を持っているところでございます。

また、警察力も素晴らしく窃盗認知件数も激減し、素晴らしい治安に優れた日本になりつつあります。

また、それと反面するかのように我々の事業も錠前の交換市場が活性化しないということにもなるわけでございますが、昨年度もご報告申し上げました通り、我々は錠の耐用年数ガイドラインを制定・発表いたしました。メカの商品は10年、電気錠は7年というガイドラインの内容で、現在広報活動を展開しているわけでございます。

これにつきましては、国民の防犯意識をいかに向上させるかということが我々の真意でございます。防犯と同時に意識改革というポイントを持って、微力ではございますけれども尽力させていただきたいという考えでございます。我々は3年前から防犯

・防犯と声高らかに訴えてきましたが、今日までに防犯の日を独自に制定してこなかったこともあり、今回10月11日「安全・安心なまちづくりの日」に日本ロック工業会としての「防犯の日」を制定することになったわけでございます。

我々民間団体として、誠に微力でございますけれども行政の皆様方とのタイアップをすることにより国民の意識改革につながっていくよう尽力したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

実は3年前からいつ発表したらよいかと思ひながら今日まで来ましたが、お恥ずかしい個人的な話となりますが、3年前自宅が泥棒に入られてしまいました。日本ロック工業会の会長宅に「こんちくしょう何で入ったんだ」かっこつかないなと思ひながら3年間黙っていましたが、3年間で時効が成立しただろうということで本日発表する訳でございます。

ガラス張りの出窓があったのですが、それを見事に割られまして、実は高価な物だったのですがその後CPガラスを採用し安全を手に入れた訳でございます。

その時から防犯の大切さが心に強くしみ込んだものですから、私は防犯・防犯と叫んでいる訳でございます。

やはり防犯に対する意識改革が同時に我々会員の事業安定というものに結び付いていく事が必要ではなかろうかと常日頃考えるわけですが、その道理は仮に5%の防犯意識改革ができるのであれば、社会全体の経済効果につながるであろうという期待感を持っている訳でございます。

皆様方が世に送り出したCP商品の販売活性化を推進する上でも一般の市民の防犯意識が向上するならば、必然と事業安定にも繋がっていくのではなかろうかと考えている訳でございます。

これからも我々一生懸命邁進して防犯に努め、我々の会員諸氏の各企業の安定経営に繋がるように頑張っていきたいと思ひます。

視察会は皆様の友好を保ち、これからのコミュニケーションを向上させるための場でもございますので、名刺交換も含めまして、お互いに楽しいひと時を過ごしていただければ非常にうれしい限りでございます。

本日は国土交通省から課長補佐中野様、経済産業省から企画官土橋様、さらには警察庁から対策官内田様と非常にお忙しいところおいで頂きましてうれしく思います。また関連団体の幹部の方々にも多数ご立席賜りましてこのような盛大な会にすることが出来ることをうれしく思っております。

どうかごゆっくりとご歓談いただければと思います。大変ありがとうございます

■ 実用性能認定制度審査委員長 小宮信夫 先生 ご紹介



小宮信夫（こみや・のぶお）

立正大学文学部社会学科教授（社会学博士）、中央大学法学部法律学科卒業。ケンブリッジ大学大学院犯罪学研究科修了。法務省、国連アジア極東犯罪防止研修所、法務総合研究所などを経て現職。専攻は犯罪社会学。地域安全マップの考案者として全国で技術指導に従事。

平成24年第45回定時理事会にて、実用性能認定制度審査委員長として就任。

東京都「地域安全マップ専科」総合アドバイザー／長崎県「安全・安心まちづくりアドバイザー」

群馬県「生活安全教育アドバイザー」／青森県「防犯環境設計アドバイザー」／

宮城県「みやぎ安全・安心まちづくり推進アドバイザー」／

千葉県「ちばっ子地域安全マップ事業推進アドバイザー」

渋谷区「防犯リーダー実践塾」塾長／新宿区「防災・防犯リーダー実践塾」塾長

墨田区「地域防犯リーダー養成講座」総合アドバイザー／藤沢市「安全・安心まちづくりアドバイザー」

大阪市北区「地域安全政策アドバイザー」など。

【所属学会】 犯罪社会学会、警察政策学会、犯罪心理学会、社会病理学会、被害者学会、日本社会学会、英国犯罪学会

【著作等】 犯人目線に立て！…危険予測のノウハウ（PHP研究所）
 犯罪は「この場所」で起こる（光文社新書）、NPOによるセミフォーマルな犯罪統制
 …ボランティア・コミュニティ・commons（立花書房）
 犯罪に強いまちづくりの理論と実践…地域安全マップの正しいつくり方（イマジン出版）
 地域安全マップ作製マニュアル（東京法令出版）
 安全・安心の環境づくり…地域で守る・自分で守る（ぎょうせい）
 安全はこうして守る…現場で本当に役立つ防犯の話（ぎょうせい）
 子どもは「この場所」で犠牲になった（別冊宝島）
 親子で学ぶ「子どもの防犯」ワークブック（東京書籍）
 犯罪・危険・事故回避マニュアル（主婦と生活社）

TOPIC 1 『住宅部品点検の日』制定について

『住宅部品点検の日』とは… 《一般社団法人リビングアメニティ協会》

長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、リビングアメニティ協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。

一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」（10月10日）を制定しました。



TOPIC 2

グレード3以上の製品が「一般社団法人公共建築協会の建築材料・設備機材等の平成25年度版評価名簿」に掲載



この評価名簿が、官庁官構工事をもとより公共団体における公共建築工事等の発注において積極的な活用が図られる。

P153 錠前期の性能	
試験項目	試験方法
1. 錠前期の性能	JIS A 1541-1「建築金物一錠一第1部: 試験方法」
2. 錠前期の性能	JIS A 1541-2「実用性能項目に対するグレード及び表示方法」のグレード3とする(換称)

P153 錠前期の性能
(1) JIS A 1541-1「建築金物一錠一第1部: 試験方法」
(2) JIS A 1541-2「実用性能項目に対するグレード及び表示方法」のグレード3とする(換称)が追加された。

建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成25年版)に掲載される評価対象建築材料錠前類の製品名及びグレードが掲載されました。

TOPIC 3

チェンジキーシステムが「優良住宅部品評価基準及び付加認定基準 玄関ドア用錠前」に記載・公表

(2013.7.5)

《玄関ドア用錠前 認定基準・評価基準改正 対比表》

優良住宅部品認定基準 (玄関ドア用錠前) (現行)	優良住宅部品認定基準 (玄関ドア用錠前) (改正案)	優良住宅部品評価基準 (玄関ドア用錠前) (現行)	優良住宅部品評価基準 (玄関ドア用錠前) (改正案)
1. 総則	1. 総則	1. 総則	1. 総則
2. 用語の定義	2. 用語の定義 j) チェンジキー装置：同一のシリンダーにおいて、シリンダー交換をせずに別形状のキーを差し込むことにより、従前のキーが使えなくなり、新たに差し込んだキーのみが使えるようになる装置をいう。 k) チェンジキー：キー交換に使用するキーで、新たなキーが使用できるよう、従前のキー形式をリセットするためのキーをいい、ニュートラルキー又はリセットキーということもある。	2. 用語の定義	2. 用語の定義 j) チェンジキー装置：同一のシリンダーにおいて、シリンダー交換をせずに別形状のキーを差し込むことにより、従前のキーが使えなくなり、新たに差し込んだキーのみが使えるようになる装置をいう。 k) チェンジキー：キー交換に使用するキーで、新たなキーが使用できるよう、従前のキー形式をリセットするためのキーをいい、ニュートラルキー又はリセットキーということもある。
II. 要求事項	II. 要求事項	II. 要求事項	II. 要求事項
1. 住宅部品の性能等に係る要求事項	1. 住宅部品の性能等に係る要求事項	1. 住宅部品の性能等に係る要求事項	1. 住宅部品の性能等に係る要求事項
1.1 機能の確保	1.1 機能の確保 c) チェンジキー装置 チェンジキー装置はチェンジするキーを差し込んだ時に確実に作動すること。	1.1 機能の確保	1.1 機能の確保 c) チェンジキー装置 チェンジキー装置の場合は次の機能を有すること 1) シリンダーにチェンジキー装置の装着が可能であること。 2) チェンジキーを差し込み後は、新規キーを使用して解錠ができ、かつ、従前キーによる解錠はできなくなること。
3. 情報の提供に係る要求事項	3. 情報の提供に係る要求事項	3. 情報の提供に係る要求事項	3. 情報の提供に係る要求事項
3.1 基本性能に関する情報提供	3.1 基本性能に関する情報提供	3.1 基本性能に関する情報提供	3.1 基本性能に関する情報提供
玄関ドア用錠前に関する基本的な事項についての情報のうち、一定の事項が容易に入手できる方法により提供されること。	玄関ドア用錠前に関する基本的な事項についての情報のうち、一定の事項が容易に入手できる方法により提供されること。	少なくとも次の機能性、安全性、耐久性、環境負荷低減等の部品に関する基本的な事項についての情報が、わかりやすく表現され、かつ、容易に入手できるカタログその他の図書又はホームページにより提供されること。	少なくとも次の機能性、安全性、耐久性、環境負荷低減等の部品に関する基本的な事項についての情報が、わかりやすく表現され、かつ、容易に入手できるカタログその他の図書又はホームページにより提供されること。 f) キーをチェンジする方法。(チェンジキー装置の場合)
3.2 使用に関する情報提供	3.2 使用に関する情報提供	3.2 使用に関する情報提供	3.2 使用に関する情報提供
玄関ドア用錠前の使用について、一定の事項を記載した取扱説明書及び保証書が、所有者に適切に提供されること。	玄関ドア用錠前の使用について、一定の事項を記載した取扱説明書及び保証書が所有者に適切に提供されること。	少なくとも次の使用に関する情報が、わかりやすく表現されている取扱説明書により提供されること。	少なくとも次の使用に関する情報が、わかりやすく表現されている取扱説明書により提供されること。 g) チェンジキーを紛失した場合は、シリンダーを交換する必要があること。(チェンジキー装置の場合)

※本基準は、社会の資産としての住宅ストックの有効な形成・活用に寄与する特徴及び環境の保全に寄与する特徴も備える住宅部品として定めた基準である。

会員会社紹介



無駄をそぎ落としたシンプルなデザイン、
モドリック開発から半世紀。
これからも、繊細な日本の感性に映える
ものづくりを続けてまいります。

modric j 2013

株式会社 ジャパン モドリック
〒582-8345
堺市西区浜寺昭和町 5-584
Tel. 072-265-8802 Fax. 072-265-8024



PERFORMANCE THROUGH DESIGN
modric j 2013

www.modric.jp

東洋シャッター株式会社

1955年の創業以来、よりよい製品・よりよいサービスを提供し社会に安全・安心・快適・感動を提供するために歩んでまいりました。

私たちはシャッターの製造・販売会社として創業し、その後、時代の流れに応じてドア、ドア金物も製造から販売までを手掛けるビジネスモデルを構築してまいりました。このビジネスモデルこそ「安全」「安心」を提供する基盤であると確信しています。当社は、シャッター、ドア、ドア金物を製造から販売まで手掛ける国内唯一のメーカーです。

商品開発・製造の技術により磨きをかけ、すぐれた商品とサービスを提供し、お客さまから満足と信頼を得ることが第一と考え、自ら先頭に立って推進し、企業価値の向上と豊かな社会作り貢献してまいります。

■お問合せ先

〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場2-3-2

南船場ハートビル13F

東洋シャッター株式会社 EM営業部オーシマ営業課

TEL: 06-4705-2155

<http://www.toyo-shutter.co.jp>

Ohshima

Ohshima

機能性と美観性を兼ね備え、さまざまな用途に
対応し、手に優しい操作性など、さまざまなことを実現
されるハードウェア。汎用性の高い製品から、建築
デザインを特に重視した製品までオーシマは数々に
対し、安心をもちたハードウェアの製造メーカーです。

部会編成会社一覧表〈平成25年度〉

Rock Manufacturer's Association

種別 Class	● 業務・研修部会 Activities and Training Committee	● 技術部会 Technology Committee
	9 社	12 社
部会長	株式会社 ゴール [理事会社]	美和ロック 株式会社 [理事会社]
副部会長	株式会社 アルファ [副会長会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ [副会長会社]	株式会社 ゴール [理事会社] 株式会社 WESTinx [理事会社]
部 員	株式会社 アート [理事会社] 株式会社 WESTinx [理事会社] 株式会社 オブナス [理事会社] 株式会社 ベスト [理事会社] 美和ロック 株式会社 [理事会社] 株式会社 ユニオン [理事会社]	株式会社 アルファ [副会長会社] 株式会社 オブナス [理事会社] 株式会社 川口技研 [理事会社] 株式会社 シブタニ [理事会社] 株式会社 長沢製作所 [会長会社] 日本カバ 株式会社 [会長会社] 株式会社 日中製作所 合資会社 堀商店 株式会社 ユーシン・ショウワ [副会長会社]
種別 Class	● 制度部会（実用性能審査会）12 社 Systems Committee	● CP審査委員会 CP Screening Committee
	12 社	10 社
部会長	日本カバ 株式会社 [会長会社]	株式会社 アルファ [副会長会社]
副部会長	美和ロック 株式会社 [理事会社] 株式会社 川口技研 [理事会社]	株式会社 WESTinx [理事会社] 株式会社 オブナス [理事会社]
部 員	株式会社 アルファ [副会長会社] 株式会社 WESTinx [理事会社] 株式会社 オブナス [理事会社] 株式会社 計電産業 [理事会社] 株式会社 ゴール [理事会社] 株式会社 シブタニ 合資会社 堀商店 株式会社 ユーシン・ショウワ [副会長会社] 株式会社 ユニオン [理事会社]	株式会社 川口技研（空錠） [理事会社] 株式会社 ゴール [理事会社] 株式会社 シブタニ [会長会社] 日本カバ 株式会社 [会長会社] 合資会社 堀商店 美和ロック 株式会社 [理事会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ [副会長会社]

※審査委員会は、技術的案件の全ての審査に対して、公平・平等の観点から、部会長・副部会長制度は設けておりません。

会員会社情報

●退会会員（正会員1社）

退 会 日 平成24年3月31日付
社 名 家研販売 株式会社

●社名変更（賛助会員1社）

登 録 日 平成25年6月1日付
社 名 株式会社トーショウビルサービス（旧 株式会社エイ・エス・アイ）



JLMA 日本ロック工業会
<http://www.jlma.org>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-7-2
TEL.03-3518-9938 FAX.03-3518-9939